

担当 エリア	C	居宅 1	名称	No 10	七畳の間
-----------	---	------	----	----------	------

エリア  
全体の  
概要や  
特徴等

ここは、当主のプライベート客が来たときに使われていた部屋です。七畳の間は一般的に切腹の間とよばれていますが、実際には使われていませんでした。  
もしものときのために用意されています。

細部の  
解説



当主が月見をするときに使っていたことから別名「月見の部屋」と呼ばれています。  
左の写真の窓から見ていたそうです。



当主は風流なものが好きだったので掛け軸が飾ってあります。



笹川邸の初代当主は武田信玄の弟、しげのぶの子供です。  
その象徴が左の写真の武田菱です。



実際は床の間の部分を1畳分として8畳の部屋になっています。